

OKINAWA GENERAL CONTRACTORS ASSOCIATION

# 沖建協会報



平成30年

No.580

9  
月号

## 今月号の主な内容

- ◆ 第4回役員会を開催
- ◆ 建設産業親睦ゴルフコンペ開催
- ◆ 地域別産学懇談会を開催



## 目 次

### <NEWS>

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 第4回役員会を開催             | 1 |
| 沖総局の小口次長が就任あいさつ       | 2 |
| 建設産業親睦ゴルフコンペ開催        | 3 |
| 地域別産学懇談会を開催           | 4 |
| 県土建部・県教育庁に要請          | 5 |
| 高校生対象の建設車両運転特別教育      | 6 |
| 3・4級建設業経理事務士検定試験対策研修  | 7 |
| 1級土木施工管理検定実地試験対策講習    | 7 |
| 青年部会と県土木建築部が意見交換会     | 8 |
| 支部活動報告                | 9 |
| 河川・海岸愛護月間で清掃活動を展開     |   |
| 那覇支部 夜間防犯パトロール実施      |   |
| 南部支部 なんぶトリムマラソン協力で感謝状 |   |
| 宮古支部 宮古総合実業高にテキスト贈呈   |   |
| 宮古支部 宮古島市長に要請         |   |
| 八重山支部 石垣市へ建築学科新設を要請   |   |

### <メッセージボード>

|                 |    |
|-----------------|----|
| 経営状況分析の申請はCIICへ | 12 |
|-----------------|----|

### <お知らせ>

|                 |    |
|-----------------|----|
| 建設業福祉共済団からのお知らせ | 13 |
| 西日本建設業保証からのお知らせ | 14 |

### <建設雇用改善コーナー>

|              |    |
|--------------|----|
| 人材開発支援助成金の案内 | 16 |
|--------------|----|

### <Message～後輩たちへ>

### <事務局から>

|       |    |
|-------|----|
| 協会の動き | 18 |
| 今後の日程 | 19 |

### <会員の異動>

### <表紙写真>

【青年部会第9回フォトコンテスト  
～島の魅力～優秀作品より】

〔造の部 みんなの公共建築賞〕

題 名：つないでつないで74m

撮 影 者：比嘉 達志

撮影場所：那覇港

# 課題解決し前進することが重要

## 第4回役員会を開催



加入申請などを審議した

平成30年度第4回役員会を8月13日、建労センターで開催した。

会に先立ち下地米蔵会長は8日に急逝した翁長雄志知事に対して、「業界のために最低制限価格の上限撤廃という英断を下してもらった」と感謝の言葉を述べ、知事をしのんだ。開会のあいさつでは、昨今の担い手不足がなかなか解消されず、今後も人手不足は続くだろうと懸念を示し、「県内業界においては、一括交付金等の減額などもあり、さまざまな課題がある」と指摘した。その上で「いろいろと議論をしながら、課題解決に向けて力を合わせて前進していくことが重要」と強調、理解と協力を求めた。

議事では、加入申請1件と会員資格承継5件、退会届1件について審議し、全会一致で承認した。その他事項では、県への要請活動を予定していることを報告（8月20日実施）。要請内容は①沖縄振興予算の確保について②土木・建築専攻科の正規職員の採用拡大について③学生が平等に学ぶ機会の確保と離島（宮古・八重山地域）対策について一の3点。②③については、7月31日に宮古支部が宮古島市長、8月17日に八重山支部が石垣市長を訪ね、要請活動を行い、県への進言をお願いしている。協会本部の要請と合わせて、地域からも声を上げ、一つの結果へと結びつくことを期待した。



開会のあいさつをする下地会長

次に、沖縄自動車道のトールゲート改築工事について、工事概要や公告時期などを説明。当局側は建設需要が高まるなか、入札不調が懸念されることから、同工事発注予定について周知を図った。協会としては、県内企業への優先発注を要望するが、会員企業に積極的な対応を求めた。このほか、沖縄県生コンクリート協同組合が今年10月1日の出荷分から、生コンクリートの販売価格を改定すると報告、会員企業の理解と協力を求めた。また、沖縄ダンプ協議会からダンプ労働者の適正単価、諸法令の遵守や労働環境、雇用改善などの取り組み強化などを求める要請があったことを報告、協力を呼びかけた。

このほか、沖縄ガス(株)からの「工事現場におけるガ



ス管確認の周知徹底のお願い」、「下請け確保状況・人手不足等に係る実態調査」の実施、おきなわ建設フェスタ(11/11開催予定)への協賛お願いなどを呼びかけた。

閉会のあいさつで津波達也副会長は、働き方改革関連法案で示された企業における有給休暇消化の義務付けや違反した場合の罰則等についてふれ、「政府が掲げる新たな施策に対応し、各企業も取り組んでいかなければならない」とし、課題解決に向け協力していこうと呼びかけた。



閉会のあいさつをする津波副会長

#### ○議事

- 1、加入申請について：【宮古支部】(有)宮古電水土木(代表取締役砂川一範)
- 2、会員資格の承継について：【那覇支部】(株)瀬底土建(代表取締役瀬底清進)、(株)照正組(代表取締役照屋圭太)、【浦添・西原支部】(株)大城組(代表取締役仲西聰)、【中部支部】(株)丸石建設(代表取締役大石根史)、【北部支部】(株)山口建設(代表取締役山口裕)
- 3、退会届について：【宮古支部】(有)立真工業(代表取締役砂川敏)

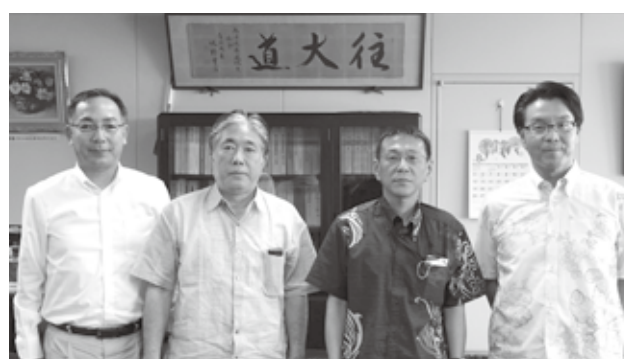
#### ○その他事項

- 1、要請活動報告について
- 2、沖縄自動車道トールゲート改築工事について
- 3、生コンクリートの販売価格改定について
- 4、沖縄ダンプ協議会からの要請について
- 5、下請け確保状況・人手不足等に係る実態調査について
- 6、おきなわ建設フェスタへの協賛のお願い
- 7、「沖縄で考える保守思想」シンポジウムについて
- 8、工事現場におけるガス管確認の周知について

## 沖総局の小口次長が就任あいさつ

7月31日付で、沖縄総合事務局次長に就任した小口浩氏が8月7日、協会を表敬訪問した。小口次長は、昭和38年長野県生まれ。昭和60年に東京大学工学部を卒業し、建設省に採用された。以降、九州地方整備局福岡国道事務所長や山口県土木建築部長、東日本高速道路(株)経営企画本部本部付部長などを歴任して、今回、沖総局の次長に就任した。沖縄での勤務は初めて。

下地米蔵会長と小口次長は災害協定や人材育成など、建設業界の抱える課題について意見を交わした。県内の状況について下地会長は「型枠・鉄筋・左官などの専門職は人手不足が続いている。本土から応援で来る職人もいるが、慣れない環境で、即戦力として力を発揮するのが難しい部分もある」と説明。小口次長は「建設業への入職者を増やしていくことは全国的な課題、これから各関係機関の皆さんと検討していきたい」と述べた。これを受けて下地会長



(左から)源河専務、下地会長、小口次長、宮城支店長

は「全国的に取り組んだ場合、中央に人が向かってしまう傾向がある。地元で働く人がどれくらい残るかも考えていくことも重要」と地方ならではの課題を指摘した。

表敬には小口氏が沖縄保証事業審議会の構成員であることから、西日本建設業保証(株)沖縄支店の宮城正支店長も同席した。



## 建設産業親睦ゴルフコンペ開催

連携強化でさらなる業界発展へ



乾杯のあと交流を深めた

沖建協と沖縄建設新聞の共催による沖縄建設産業親睦ゴルフコンペが8月2日、南城市の琉球ゴルフ倶楽部で開かれ、業界関係者168人が参加。途中大雨が降り一時中断することもあったが、参加者らは最後までプレーを楽しんだ。

コンペは、建設産業関連団体の親睦と各団体の交流と連携強化を図り、更なる業界発展につなげることを目的に開催しているもので、今年で5回目。

3日には、那覇市のザ・ナハテラスで表彰式・懇親会を開催、コンペに参加した約60人が詰め掛けた。主催者を代表して沖縄建設新聞の古謝昇会長が「熱中症が心配される中、多くの方に参加いただいた」と謝意を述べ、建設産業界が抱える技術者不足についてふれ「建産連を中心に人材確保・育成に向けてさまざまな取り組みを行っている。今後も建設業の魅力を発信していくのでご協力をお願いしたい」と呼びかけた。その後、沖建協の津波達也副会長が乾杯の音頭を取り、参加者らはお互いの健闘を讃えるとともに、ゴルフ談義

に花を咲かせた。

各賞の入賞者は次の通り(敬称略)。

- ▽1位＝豊田益市((一社)沖縄県磁気探査協会)
- ▽2位＝伊豆味明((一社)沖縄県磁気探査協会)
- ▽3位＝喜屋武忠((一社)沖縄県建設業協会)
- ▽ベストグロス賞＝与那覇政人((一社)沖縄県建築士事務所協会)
- ▽沖建協会長賞＝濱川雅司(大晋建設(株))
- ▽沖縄建設新聞社長賞＝澤岷秀雄(株)琉球銀行)



# 入職促進、雇用安定で意見交換

## 地域別産学懇談会を開催

沖建協本部・支部とハローワーク、工業高校などの校長・教諭らが新規学卒者の雇用に関する課題について協議する「平成30年度地域別産学懇談会」が8月10日から17日にわたり県内5カ所で開かれた。同懇談会は、県内の雇用安定と若年者・新規学卒者の入職促進を目的に毎年行われている。

8月10日に建労センターで開かれた懇談会では、源河忠雄専務理事が今年7月に宮古支部が宮古島市に島内の高校に「建築科」を新設するよう要請したことを報告。「離島の生徒が親元を離れ本島に渡ることなく、島内で学べる環境を整えるために建築科新設の要請を行った」と説明した。また、「教育の質を低下させないために専門教師の確保など教育現場から改善する必要がある」と意見を述べた。

このほか、協会が継続して行っている建設雇用改善推進事業の取り組みとして、高校生現場見学会や現場実習の充実、各種資格取得等のサポートや車両系建設機械の資格取得支援、建設産業合同企業説明会開催などを紹介した。

ハローワーク那覇の比嘉均所長は、管内の労働市場動向や平成30年3月新規学卒者の就職対策などを紹介。管内の現状として、県外と比較して定着率が低く離職率が高いと説明。建設業セミナーなどを実施して建設業界への理解・関心を深めてもらう取り組みを行っていると報告した。学校側からは「保護者も生徒も給与や残業時間など数字にとらわれがちで実際と違うとミスマッチを訴えるケースがある」と実情を語り、「人間関係で悩んだときに相談できる先輩・上司がいなくて辞めてしまうことがある。相談できる環境を整えてほしい」などの要望があがった。



那覇・南部地区の懇談会の様子(10日、建労センター)



14日には北部地区で開催した



15日の中部地区の様子



宮古地区(16日)



八重山地区(17日)

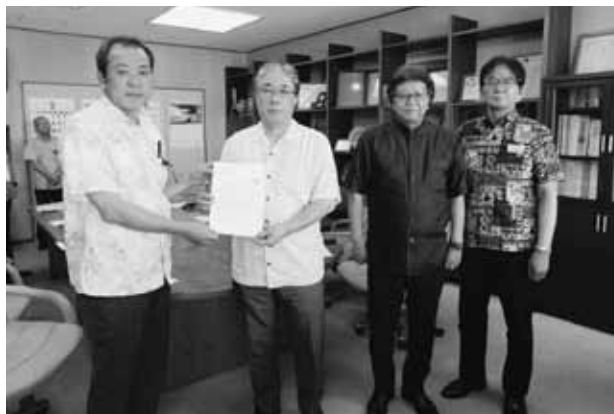
# 沖縄振興予算拡大と建築系学科増設を

## 県土建部・県教育庁に要請

沖建協の下地米蔵会長、津波達也副会長、新里英正副会長らは8月20日、県土木建築部および県教育庁を訪ね、沖縄振興予算の拡大・確保や土木・建築専攻科の正規職員の採用拡大、宮古・八重山地域への建築学科設置などを要望した。

県土建部では、31年度沖縄振興予算の拡大・確保と、均衡ある地域配分を要請。下地会長は「県内では景気回復基調とともに建設需要が拡大しているが、沖縄振興予算の公共事業関係費が2年連続で削減されたことから地域・地方の建設産業に与える影響を懸念している」と強調。さらに、建設産業は経済振興や雇用確保に加え、地域の復旧支援などの重要な役割を担っていると説明し、県内建設産業振興に係る予算確保を訴えた。これに対し永山淳土木企画統括監は、県としても2年連続で沖縄振興予算が減額されたことに危機感を持っているとした上で「クルーズ需要への対応や今後増加する老朽化した社会基盤の改修に向け、適切な予算確保に努めていく」と答えた。

県教育庁では、県内建設産業の人材育成に関する積極的な施策展開などを要望。下地会長は「建設業界の担い手不足や高齢化は喫緊の課題。このままでは今後5～10年後に深刻な状況に陥る恐れがある」と指摘し、土木・建築専攻科の正規職員採用拡大や工業高校に設置された既設の土木および建築科の増設、宮古・八重山地域への建築科の設置を要望した。対応した當間正和参事は、今年度は1人の土木・建築専攻科の正規教職員を採用予定と説明した上で「次年度以降も、正規職員採用枠の確保に向け取り組んでいく」と答えた。一方、既設の土木・建築科増設や宮古・八重山地域への建築科設置については「近年は普通科志向が特に強い。学生のニーズがなければ学科の増設や新設はできないので、業界と協力して小中学生に建設系学科の魅力を啓発していきたい」と返答した。



永山統括監(左)に要請書を渡す下地会長(同2人目)ら



當間参事(右から2人目)に要請書を渡す下地会長(同3人目)ら



# 高校生対象の建設車両運転特別教育

9校109人が修了証取得



慎重に操作する生徒(7月27日、名護商工、沖縄工業)



実技訓練に先立ち座学で学んだ(7月28日、美来工科)

高校生を対象にした小型車両系建設機械運転特別教育講習が7月26日から8月18日の間、県内各地で開催された。同講習は、沖建協が主催し、将来の建設産業の人材育成・確保に向け、高校生の資格取得と現場の安全知識を早期に意識させるとともに就職等でのアドバンテージとなるよう建設業労働災害防止協会沖縄県支部に委託依頼して実施している。沖建協が受講料等の補助を行い、受講生の資格取得にあたっての経済的負担を軽減している。

26日と27日には、沖縄市海邦町の建設業安全衛生技術センターで実施。名護商工高校と沖縄工業高校の生徒らが受講した。初日には、3トン未満の建設機械の取り扱い方法や関係法令などを学び、2日目はショベル・ローダーを使用して、機械操作の際に必要な安全確認作業や整地、掘削などの実技講習を受けた。生徒は卒業式に修了証を受け取るになっている。

今回受講したのは、沖縄工業高校土木科28人、同建築科4人、美里工業高校建築科12人、名護商工高校電建システム科18人、美来工科高校土木工学科11人、宮古総合実業高校食と環境科10人、宮古工業高校自動車機械システム科12人、八重山商工高校定時制1人、八重山特別支援学校1人、八重山農林高校グリーンライフ科11人、同フードプロデュース科1人の計109人。



宮古地区での実技訓練の様子(8月2日)



八重山地区での座学の様子(8月7日)



実技訓練を行う沖縄工業高校の生徒(8月15日)



座学を受ける美里工業高校の生徒(8月18日)

## 3・4級建設業経理事務士検定試験対策研修

沖建協では、工業高校生を対象に建設業経理事務士検定対策特別研修を実施している。研修は、若年者の建設業への入職促進を目的に、協会が受講費用の一部を補助して行っている。建設業経理に関する知識や処理能力、経営合理化につながる知識などを学ぶことができ、今年は、夏休み期間の7月23日から8月22日の間に実施。県内の工業系高校3校から延べ55人が参加した(3・4級の重複者あり)。研修最終日に行われる検定試験に合格すると資格が取得でき、今回は、沖縄工業高校建築科・土木科から4級に18人、3級に6人、美里工業高校土木工学科から4級に3人、3級に6人、3級のための開講となった名護商工高校は電建システム科の生徒8人がそれぞれ合格した。

生徒らは、講義で貸借対照表の読み方や仕訳問題の解き方、原価計算の基礎などの指導を受けた。合格した生徒は建設業への就業意識が高まり、研修を通じて学んだ経理事務の知識と、業界に求められるコスト管理を身に付け、“即戦力”として就職につなげ、営業職や技術職としても活躍が期待される。



3級の講義を受ける名護商工の生徒ら(7月23日、円内は平澤朋尚講師)



沖縄工業で行われた特別研修(7月25日、円内は上原義史講師)



演習に取り組む美里工業の生徒ら(8月14日、円内は伊計孔雄講師)

## 1級土木施工管理検定実地試験対策講習

沖建協は8月21日と22日の2日間、1級土木施工管理検定実地試験の受験対策講習会を開催した。10月7日予定の実地試験に向けて実力アップを図るため実施したもので、会員企業から12人が受講。講師は1日目に(株)沖縄建設技研・宮城敏明氏、2日目は徳元将康氏がそれぞれ務めた。

講習1日目は土工、コンクリート、品質管理、2日目は安全管理などの科目を中心に出题傾向や重要ポイントについて講義。検定を想定した演習問題を解くなどして理解を深めた。

宮城氏は「毎年、過去問を分析しながら対策を練っている。1級土木施工は範囲が広いので、ポ



講義に臨む受講者(円内左から徳元氏、宮城氏) イントを絞って、過去問を繰り返すといて合格してほしい」とアドバイスした。

実地試験の合格発表は平成31年1月16日。



# 港湾工事の残土運搬費統一基準を要望

青年部会と県土木建築部が意見交換会



活発に意見を交わした

沖建協青年部会(黒島一洋部会長)は8月20日、県庁で県土木建築部と意見交換会を開き、同部発注工事の入札制度などについて意見を交わした。この中で青年部会は、港湾工事における残土運搬費用について、各土木事務所によって積算に開きがあるとして、統一した歩掛の設定を要望したほか、現在、年2回公表している発注見通しを四半期ごとに実施するよう求めた。一方、県は法定福利費を含んだ下請け見積もりの尊重や、平成33・34年度の入札参加資格審査の加点項目に、がん検診受診率を盛り込む案などについて青年部会に意見を求めた。

残土運搬費用について、県内の港湾工事では台船を用いて残土の運搬を行うことが一般的だが、港湾積算基準書では土運船での基準しかないため、各土木事務所で積算に開きがあり、通常の曳航費を基に積算された事例もあった」と説明し、県として統一した歩掛の設定を求めた。これに対して、県土建部は、各土木事務所の積算方法などを確認した上で、統一した歩掛基準による運用が可能か検討していきたいと返答した。

また、県土建部が毎年4月と10月に公表している発注見通しについて、効率的な技術者配置や応札

計画の策定などを目的に四半期ごとに公表するよう要望。県は「今後、年4回の公表を検討していきたい」と述べ、前向きに取り組む旨を説明した。

このほか、沖縄総合事務局が港湾・空港関連工事で実施している主任(監理)技術者の契約後の変更容認や、複数案件で落札候補者となった場合の重複する事後審査資料の簡素化、JV工事における構成員の配置予定技術者の要件緩和などを要望した。

一方、県土建部は青年部会に対し、建設業従事者の社会保険加入推進に向け、法定福利費の計上で下請け業者見積もりを尊重するよう要望。また、県が2040年に長寿日本一の奪還を目標に、各部が横断的に健康づくりに関する施策を推進している現状を説明。その上で、平成33・34年度の入札参加資格審査において、社員のがん検診受診率を加点項目に加えることを検討していると説明した。

意見交換会には、青年部会から黒島部会長、古波蔵太志副部会長、石川裕憲副部会長、砂川和寛副部会長らが出席、県から永山淳土木企画統括監、松島良成土木整備統括監、嘉川陽一建築都市統括監らが参加した。



## 河川・海岸愛護月間で清掃活動を展開

7月の河川・海岸愛護月間に合わせて協会各支部は、良好な河川環境保全や再生を目的に河川清掃活動を展開。県の各土木事務所の呼びかけに応じて実施しているもので、毎年各支部会員企業から多数が参加して、河川愛護の意識向上を図るとともに、良好な河川・海岸保全などに一役買った。

### ■那覇支部・南部支部

那覇支部(長山宏支部長)と南部支部(上原進支部長)は27日、国場川周辺の清掃活動に参加。川沿いに繁茂する雑草や雑木の刈り取り・撤去、ごみ拾いなどに汗を流した。当日は両支部から会員多数が参加。約1時間の作業で草木や空き缶、ごみなど合わせて約4.2トンを回収。参加者らは「定期的に清掃して、気持ちよく利用してもらいたい」などと話した。



繁茂する雑草を刈り取った(27日、那覇支部・南部支部)

### ■中部支部

中部支部(手登根明支部長)は27日、石川川周辺で清掃活動を実施した。津波克守副支部長は「地域貢献活動の一環として毎年参加している。微力ながら今後も継続して参加していきたい」と語った。当日は、会員企業多数が参加して、川沿いの空き缶やごみ、草木の刈り取り作業などを行った。



川沿いの雑草を刈り取り視界が開けた(27日、中部支部)

### ■北部支部

北部支部(仲泊栄次支部長)は27日、宇茂佐海岸などで河川・海岸清掃を実施。会員企業から約45人が参加。支部会員のほか、県職員や各団体等から総勢175人が参加、美化清掃に汗を流した。約1時間半の作業で海岸沿いで収集した漂着ごみや河川周辺の繁茂した草木の伐採など合わせて約5トンを回収、清掃後にはすっかりきれいになった。



清掃活動への参加付受け付けをする会員ら(27日、北部支部)

### ■八重山建産連(八重山支部)

八重山建設産業団体連合会(米盛博明会長)は25日、石垣新川川周辺で河川・海岸清掃を実施。清掃には、県職員や八重山建産連から総勢140人が参加。八重山建産連からは会員企業の社員ら112人が参加、同市登野城の市健康福祉センターから小波本橋までにわたる遊歩道などの草を刈り取り、散乱するごみ拾いなどに汗を流した。当日は4トトラック1台と2トトラック3台分の草木(約620kg)を回収した。



遊歩道にまで伸びる雑草を刈り取り除去した(25日、八重山支部)

## 支部活動報告

## ■那覇支部 夜間防犯パトロール実施

那覇支部（長山宏支部長）は7月25日、那覇市内で防犯パトロールを実施した。パトロールは那覇警察署からの委嘱を受けて実施しているもので、当日は支部会員企業から16人が参加した。

パトロールは2班に分かれて壺屋地区を中心に巡回。暗い路地では懐中電灯を使ってチェックしたり、道路のごみなどを回収しながら美化活動にも努めた。また、すれ違う歩行者に対して声かけを行い、パトロール活動をアピール。午後9時ごろまで巡回し、未成年者の非行防止に一役買った。

同支部の宜名真弘和事務局長は「学校が夏休みに入ると非行が増える傾向にあることから、この時期にパトロールを実施している。今後も非行防止に協力していきたい」と話し、地域の安心・安全



壺屋地区を巡回した

確保のため、活動を継続していくとした。パトロールは8月29日にも実施した。

## ■南部支部 なんぶトリムマラソン協力で感謝状

南部支部（上原進支部長）は、なんぶトリムマラソン実行委員会から感謝状を贈呈された。毎年3月に行われていたなんぶトリムマラソン大会に向けた清掃ボランティア活動に対して贈られたもので、同支部では、地域貢献活動の一環として毎年実施していた。同マラソン大会は今年3月の第30回大会で終了した。

実行委員長の上原昭糸満市長は「これまでのご協力に感謝する」と述べ、上原支部長は「毎年清掃活動という形で参加していたので、さびしくなるが、今後も南部地域の発展のため、協力できることはしていきたい」と語った。

同支部では、毎年3月に行われていたなんぶトリムマラソンに先立ち、大会コースとなっている県道や周辺の草刈りやごみ拾い、ポイ捨て空き缶回



上原支部長(右)に感謝状が手渡された

収などの清掃活動を行っていた。

表彰式は7月31日に執り行われ、これまで大会開催にあたって協賛・協力した企業・団体等7社31団体に感謝状と記念品が贈られた。

## ■宮古支部 宮古総合実業高にテキスト贈呈

宮古支部(長田幸夫支部長)は7月31日、宮古総合実業高校を訪ね、資格取得への支援として受験対策テキストを贈呈した。同支部の地域貢献活動の一環として、地元高校生を対象に建設業界の人材育成・入職促進を図ることを目的に行ったもの。

贈呈式には長田支部長と与那城敏副支部長、テキスト寄贈に協力した日建学院の梁田馨事務局長が参加して生徒らにテキストを手渡した。

長田支部長は「即戦力に対応できる人材確保・育成と、将来に向けた雇用の拡大確保を図るため、資格取得支援を援助する。生徒の皆さんはしっかりと学び、資格を取得してください」と生徒を激励。「学校



生徒らに直接手渡し激励した関係機関との連携を強化し、学校現場へのサポートを行う」と話し、建設産業を支える人材の掘り起こしに期待した。

## 建築科設置を宮古島市長に要請

また同日、宮古島市に下地敏彦市長を訪ね、宮古地区の高校に「建築科」を設置するよう要請した。離島振興や将来の建設産業を支える人材の掘り起こしへの支援を求め、離島から本島に進学することへの家計負担による生活貧困に堕ちうる要因解消などを訴えた。

要請には、長田支部長と平良正樹副支部長、親泊秀人事務局長が出席。長田支部長は「少子高齢化に伴い建設業の担い手確保・育成は喫緊の課題」としたうえで、「人材育成、キャリア教育を担う学校現場の問題解消と合わせて、離島から本島に進学するために係る家計負担の軽減のためにも、ぜひ宮古島に



長田支部長(左から2人目)が要請文を手渡した建築学科を設置してほしい」と話し、県に進言するよう求めた。対応した下地市長は「よい提案だと思う」と答え、理解を示した。

## ■八重山支部 石垣市へ建築学科新設を要請

八重山支部(米盛博明支部長)は8月16日、石垣市を訪ね、八重山地域における学生の平等に学ぶ機会の確保を訴え、島内の高校に建築系の学科を新設するよう県への進言を要請した。

米盛支部長は、少子化の流れで圏域の実業系高校の定員割れなどの状況も承知しているとしたうえで、「高校に建築系学科があれば、卒業後に即戦力として建設業界で活躍できる」と話し、離島振興や将来の建設産業を支える人材の掘り起こしなどの支援を求めた。対応した漢那政弘副市長は「人材育成は必要。本島と平等に学ぶ機会が確保されるよう要



要請文を読み上げる米盛支部長(右)望していく」と前向きに取り組む考えを示した。



## 建設業 経営状況分析の申請は

一般財団法人

# 建設業情報管理センター

ココがNO1  
経営状況分析  
取扱件数

ココがNO1  
29年度 経営状況分析  
申請取扱件数

ココがNO1  
29年度 経営状況分析  
申請取扱シェア件数

# CIIC

昭和63年(1988年)設立以来、  
経営状況分析取扱件数延べ

## 440万件以上



ソフトも充実! インストール不要 会員登録不要 利用料・更新料一切不要

便利でお得な無料配布ソフト

## 『なんでも経審』

建設業  
許可

経営事項  
審査

経営状況  
分析などの

申請書類や財務諸表がこれ1本で、簡単に作成できます!

CIIC 電子申請にマイページ機能を搭載!

- ① 電子申請ができる
- ② 過去の申請履歴が確認できる
- ③ 現在申請中の進捗状況が確認できる
- ④ 分析手数料の支払いができる
- ⑤ 結果通知書の受取方法が選択できる

便利なコンビニ受け取りサービス!

「電子申請」または「郵送申請」  
どちらのお客様も  
サービスが受けられます!

コンビニなら24時間受取OK!

登録経営状況分析機関 登録番号 1 【アドレス】<http://www.ciic.or.jp/> 又は、CIIC 検索

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 九州事務所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目14番18号(福岡建設会館6階)  
TEL 092-483-2841



当財団は、  
情報セキュリティ  
マネジメントシステム  
ISO27001に準ずる  
ISMS規格(2005)の  
認証を取得しています。

# お知らせ

## ＜法定外労災補償制度＞

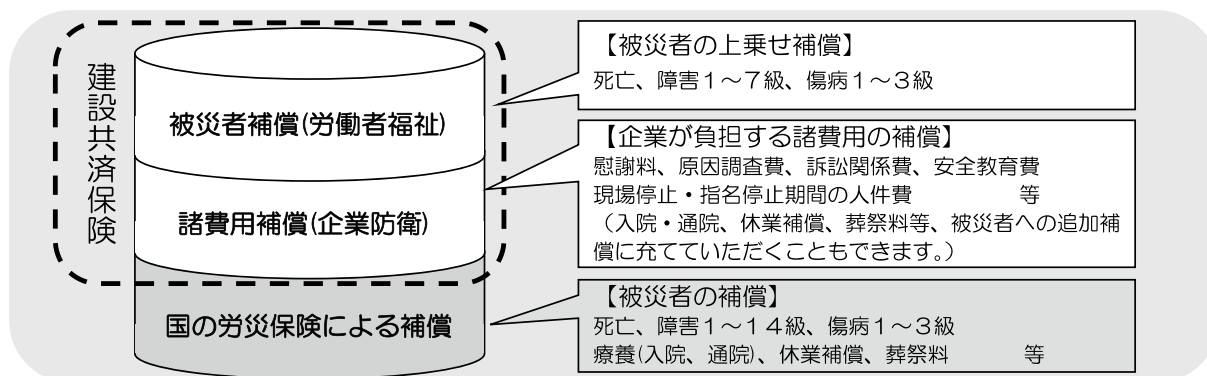
## 建設共済保険は労働者と企業のリスクをカバーします！

（年間完成工事高契約）

### ◆建設共済保険は、建設業界の声を受けて生まれた制度です。

建設共済保険は、建設業を対象にした法定外労災補償制度の創設を望む建設業界の声を受け、昭和45年に全国建設業協会と建設業福祉共済団が特約を結び、建設省（現：国土交通省）及び労働省（現：厚生労働省）の認可を受けてわが国で初めて創設された制度です。

運営団体の建設業福祉共済団は平成25年度に公益認定を取得し、公益財団法人としてより一層の労働者の福祉の向上や建設業の更なる発展等を目指し運営しています。また、当共済団は、各都道府県建設業協会の賛助会員であり、事務委託契約を結んで建設共済保険の普及促進を行っています。



### 1. 加入対象企業

国土交通大臣または都道府県知事の建設業許可を取得している建設業者であれば加入いただけます。

### 2. 補償の対象となる方

保険契約者が施工する元請・下請工事現場に就労する、自社および下請会社に雇用される労働者（アルバイト等を含みます。）を無記名で補償します。

※保険契約者である事業主（労災保険の特別加入をすることができる方（従業員300人以下の場合））も補償対象となります。

※役員、事務職員等の方は追加加入いただけます。詳しくはお問い合わせください。

### 3. 保険金をお支払いする場合

労災保険法に定める業務上または通勤途上の災害により、死亡、障害の1級から7級、または傷病の1級から3級に該当した場合です。

### 【建設共済保険の特長】

- ①建設業における自主的な共済保険で掛金が安い
- ②災害発生時に企業が負担する諸費用も補償
- ③同一事故で多数被災した場合でも補償額の上限なし
- ④元請・下請を問わず無記名で補償
- ⑤代表者（保険契約者）も補償（従業員300人以下の場合）
- ⑥経営事項審査において15点の加算

### 【年間掛金の目安】

保険金区分合計 1,000万円

（被災者補償保険金 500万円）

（諸費用補償保険金 500万円）の場合

| 完工高  | 土木一式工事   | 建築一式工事   |
|------|----------|----------|
| 1億円  | 33,440円  | 12,760円  |
| 2億円  | 57,760円  | 22,040円  |
| 5億円  | 121,600円 | 46,400円  |
| 10億円 | 197,600円 | 75,400円  |
| 50億円 | 760,000円 | 290,000円 |

保険金区分合計を2,000万円、3,000万円、4,000万円とする場合は、それぞれ上記掛金の2倍、3倍、4倍となります。

◆「建設共済保険」の他にも次のような事業を行っています。

### 【育英奨学事業】

被災者（死亡および障害・傷病3級以上）の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付します。

### 【労働安全衛生推進事業】

- 安全衛生用品の頒布
- 女性専用トイレ導入費用に対する助成
- 安全衛生推進者表彰 等

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは

公益財団法人 建設業福祉共済団

Tel 03-3591-8451

URL: <http://www.kyousaidan.or.jp/>

取扱機関

一般社団法人 沖縄県建設業協会

Tel 098-876-5211

建設共済保険

検索

## 沖縄県内の公共工事動向 (平成30年7月分)

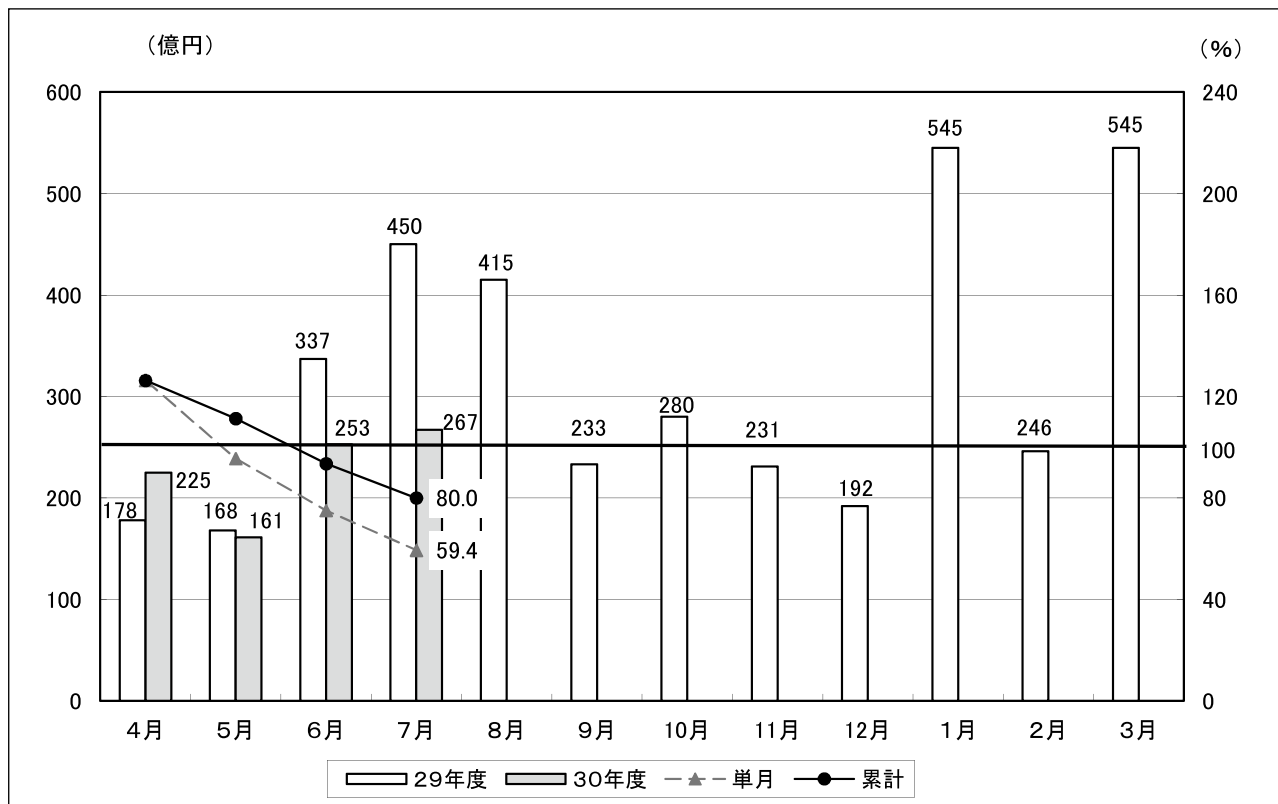
西日本建設業保証 (株) 沖縄支店

### ▼ 概況

(単位：件、百万円、%)

|         | 当 月 |        | 前年同月比 |       | 累 計   |         | 前年同期比 |       |
|---------|-----|--------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|
|         | 件数  | 請負金額   | 件数    | 請負金額  | 件数    | 請負金額    | 件数    | 請負金額  |
| 国       | 69  | 7,941  | 116.9 | 28.9  | 188   | 27,952  | 93.1  | 56.4  |
| 独立行政法人等 | 1   | 80     | 33.3  | 131.0 | 8     | 2,814   | 61.5  | 72.4  |
| 沖縄県     | 106 | 8,344  | 76.8  | 110.9 | 314   | 30,668  | 90.5  | 121.5 |
| 市町村     | 204 | 9,626  | 96.2  | 99.7  | 473   | 26,321  | 96.7  | 97.6  |
| その他     | 11  | 735    | 137.5 | 229.3 | 47    | 2,943   | 94.0  | 37.7  |
| 平成30年度  | 391 | 26,729 | 93.1  | 59.4  | 1,030 | 90,701  | 93.6  | 80.0  |
| 平成29年度  | 420 | 45,031 | 99.5  | 131.8 | 1,101 | 113,444 | 100.2 | 126.7 |
| 平成28年度  | 422 | 34,156 | 89.4  | 102.0 | 1,099 | 89,530  | 99.0  | 97.3  |
| 平成27年度  | 472 | 33,472 | 88.2  | 71.7  | 1,110 | 92,038  | 87.1  | 84.4  |
| 平成26年度  | 535 | 46,674 | 113.3 | 118.5 | 1,275 | 109,082 | 111.7 | 125.8 |

### ▼ 月別請負金額、単月・累計前年対比の推移





# お知らせ

次の発注者で中間前金払制度が新規採用されました!!  
ご受注の際は是非ご利用下さい!!

## 【中間前金払制度とは】

- ◆ 請負金額の40%に相当する前払金に加え、工期と出来高が1/2を超えた時点で、追加で請負金額の20%を受領できる制度です。

## 〈中間前金払制度を新規採用した発注者〉

8月1日付

**渡嘉敷村**

請負金額：50万以上

8月17日付

**嘉手納町**

請負金額：1,000万以  
工期：120日以上

9月1日付

**栗国村**

請負金額：150万以上

今後も採用が決定した  
市町村は随時ご案内致します!

## 中間前金払制度の導入状況(平成30年9月1日現在) 34/41市町村 導入

| 発注者  | 対象金額    | 対象工期   | 発注者  | 対象金額    | 対象工期   | 発注者  | 対象金額    | 対象工期   |
|------|---------|--------|------|---------|--------|------|---------|--------|
| 沖縄県  | 1千万円以上  | 120日以上 | 浦添市  | 1千万円以上  | 120日以上 | 大宜味村 | 1千万円以上  | 120日以上 |
| 那覇市  | 1千万円以上  | 120日以上 | 竹富町  | 500万円以上 | 60日以上  | 伊平屋村 | 1千万円以上  | 120日以上 |
| 名護市  | 1千万円以上  | 120日以上 | 久米島町 | 150万円以上 | 60日以上  | 南大東村 | 150万円以上 | —      |
| うるま市 | 1千万円以上  | 120日以上 | 本部町  | 1千万円以上  | 120日以上 | 恩納村  | 1千万円以上  | 120日以上 |
| 沖縄市※ | 1千万円以上  | 120日以上 | 与那原町 | 1千万円以上  | 120日以上 | 読谷村  | 1千万円以上  | 120日以上 |
| 宜野湾市 | 1千万円以上  | 120日以上 | 北谷町  | 150万円以上 | —      | 伊江村  | 1千万円以上  | 120日以上 |
| 糸満市  | 50万円以上  | 90日以上  | 南風原町 | 150万円以上 | —      | 宜野座村 | 130万円以上 | 90日以上  |
| 豊見城市 | 1千万円以上  | 90日以上  | 西原町  | 100万円以上 | —      | 伊是名村 | 150万円以上 | —      |
| 南城市  | 1千万円以上  | 120日以上 | 嘉手納町 | 1千万円以上  | 120日以上 | 北大東村 | 150万円以上 | —      |
| 宮古島市 | 1千万円以上  | 120日以上 | 中城村  | 150万円以上 | —      | 東村   | 1千万円以上  | 120日以上 |
| 石垣市  | 130万円以上 | 60日以上  | 北中城村 | 1千万円以上  | 120日以上 | 渡嘉敷村 | 50万円以上  | —      |
|      |         |        | 国頭村  | 1千万円以上  | 120日以上 | 栗国村  | 150万円以上 | —      |

※沖縄市は水道局発注工事のみの適用となっております。

※表に掲載のない市町村は中間前金払制度を導入されていません。

お申し込み・お問い合わせは下記までお願いします。

西日本建設業保証株式会社 沖縄支店(担当:小倉、濱岡)

TEL: 098-876-1981 FAX番号: 098-876-1985

# 人材開発支援助成金の案内

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。企業の人材育成と労働者の職業能力開発のために、ぜひ、ご活用ください。

## 〈平成 30 年 4 月 1 日からの主な改正内容〉

- キャリアアップ助成金の人材育成コース、建設労働者確保育成助成金の認定訓練コース及び技能実習コース、障害者職業能力開発助成金を統合し、助成メニューを7類型（特定訓練コース、一般訓練コース、特別育成訓練コース、教育訓練休暇付与コース、建設労働者認定訓練コース、建設労働者技能実習コース、障害者職業能力開発コース）に整理統合しました。
  - 労働生産性が向上している企業について支給する割増助成分について、特定訓練コースのみ、訓練開始日が属する会計年度の前年度とその3年度後の会計年度と比較する成果主義へ変更しました。
  - 制度導入助成について、教育訓練休暇付与コースを新設するとともに、キャリア形成支援制度導入コース及び職業能力検定制度導入コースについては、平成29年度限りで廃止いたしました。
- その他詳細はHP ([http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)) などでご確認ください

## 〈各コースの申請期限〉

○訓練実施計画（訓練様式第1号）

→訓練開始日から起算して1カ月までに提出するようお願いします。

例：訓練開始日が7月1日である場合、6月1日が提出期限

訓練開始日が7月15日である場合、6月15日

訓練開始日が7月31日である場合、6月30日（6月31日がないためその前日）

訓練開始日が9月30日である場合、8月30日（前月の同日が期限）

訓練開始日が3月29日、30日、31日である場合、いずれも2月28日（2月29日までである場合は29日）

※新たに雇い入れた被保険者のみを対象とした訓練等雇い入れ日から訓練開始日までが1カ月以内である訓練等の訓練実施計画届の提出期間については、訓練開始日から起算して原則1カ月前に提出するようお願いします。

※訓練実施計画届提出時において、提出が困難な添付書類がある場合には当該添付書類について訓練開始日の前日までに提出するようお願いします。

※申請期限について平成29年度と取り扱いが異なるのでご注意ください。

## 人材開発支援助成金

|              |                                                                                |                         |               |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|---------------|
| 特定訓練コース      | ・労働生産性の向上に係る訓練<br>・技能継承等の訓練                                                    | ・雇用型訓練<br>・グローバル人材育成の訓練 | ・若年労働者への訓練    |
| 一般訓練コース      | 上記以外の訓練                                                                        |                         |               |
| 教育訓練休暇付与コース  | ・有給教育訓練休暇制度を導入し、労働者が当該休暇を取得して訓練を受けた場合に助成                                       |                         |               |
| 特別育成訓練コース    | ・一般職業訓練                                                                        | ・有期実習型訓練                | ・中小企業等担い手育成訓練 |
| 建設労働者認定訓練コース | ・認定職業訓練または指導員訓練のうち建設関連の訓練                                                      |                         |               |
| 建設労働者技能実習コース | ・安衛法に基づく教習及び技能講習や特別教育<br>・能開法に規定する技能検定試験のための事前講習<br>・建設業法施行規則に規定する登録機関技能者講習 など |                         |               |
| 障害者職業能力開発コース | ・障害者職業能力開発訓練施設等の設置等<br>・障害者職業能力開発訓練運営費（人材費、教材費等）                               |                         |               |

### お問い合わせ先

沖縄労働局職業安定部  
職業対策課 助成金センター  
TEL:098-868-1606  
FAX:098-868-1612

## 〔助成額・助成率〕（ ）内は中小企業以外の助成額・助成率

| 支給対象<br>となる訓練 | 賃金助成<br>(1人1時間当たり) |                 | 経費助成     |                 | 実施助成<br>(1人1時間当たり) |                 |
|---------------|--------------------|-----------------|----------|-----------------|--------------------|-----------------|
|               |                    | 生産性要件を<br>満たす場合 |          | 生産性要件を<br>満たす場合 |                    | 生産性要件を<br>満たす場合 |
| ① 特定訓練コース ※   |                    |                 |          |                 |                    |                 |
| Off-JT        | 760円(380円)         | 960円(480円)      | 45%(30%) | 60%(45%)        | —                  | —               |
| OJT           | —                  | —               | —        | —               | 665円(380円)         | 840円(480円)      |
| ② 一般訓練コース     |                    |                 |          |                 |                    |                 |
| Off-JT        | 380円               | 480円            | 30%      | 45%             | —                  | —               |
| ③ 教育訓練休暇付与コース | —                  | —               | 30万円     | 36万円            | —                  | —               |

※認定実習併用職業訓練において、建設業、製造業、情報通信業の分野（特定分野）の場合は経費助成率を30%→45%、45%→60%、60%→75%へ引き上げます。

## Message ～後輩たちへ～

### 積極的にコミュニケーションをとることが大事!!

業者との打ち合わせ、工程管理、施工図作成などさまざまな作業を行って一つの建物をつくっていく現場監督という職種に魅力を感じ入社しました。分からないことは現場の先輩や職人さんたちに積極的に聞き、コミュニケーションをとることが大事! きつい時やつらい時などは一人で悩まずにいつでも相談できる同期や友人、家族に頼ることも大切だと思います。



城間前田線都市モノレール浦添前田駅建設工事(建築)



沖縄工業高等学校出身

志藤 圭悟さん(20歳)

(大晋建設株式会社

建設事業部建築課)

しどう・けいご/那覇市出身/2017年3月沖縄工業高校建築科卒業/2017年4月大晋建設(株)入社

**将来の夢:**現場代理人になること。そのための目標として1級施工管理技士、1級建築士取得に向けて頑張ります。

### コミュニケーションとメモを取るのが大事

入職のきっかけは身近に土木関係の仕事をしている人が多かったこと。初めての現場は、馴染むまでに時間がかかると思いますが、話してみるとみんな優しいです。高所など危険な場所での作業もありますが、安全性が徹底されており、その現場のルールをきちんと守れば心配ないです。大事なのは現場の方達とのコミュニケーションと教わったことはメモを取るということです。



県道20号線(泡瀬工区)橋梁整備工事(P2下部工)。主に環境対策で濁度測定と写真管理をしていました。



美来工科高等学校出身

富里 亮太さん(19歳)

(株式会社仲本工業 土木部)

ふさと・りょうた/うるま市出身/2017年3月美来工科高校都市環境科卒業/2017年4月(株)仲本工業入社

**将来の夢:**目標は1級土木施工管理技士を取ることです。



## 平成30年8月の動き

| 日  | 曜 | 沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等                                                                                                                 | その他会議・講習会等                                                                                                                 |
|----|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 水 | ・沖建協「高校生小型車両系建設機械特別教育【宮古地区】」～8/2(木)迄(宮古総合実業高校)                                                                                      | ・経済団体会議「本会議」(那覇市)<br>・沖縄空手国際大会「開会式」(那覇市)<br>・めんそーれ沖縄県民運動推進協議会「総会・表彰式」(那覇市)                                                 |
| 2  | 木 |                                                                                                                                     | ・建設業振興基金「監理技術者講習」(浦添市)                                                                                                     |
| 3  | 金 |                                                                                                                                     | ・防衛協会「災害派遣活動報告会」(那覇市)<br>・全建「建設生産システム委員会」(東京都)                                                                             |
| 5  | 日 |                                                                                                                                     | ・沖縄空手国際大会「閉会式・表彰式」(那覇市)                                                                                                    |
| 7  | 火 | ・沖建協「高校生小型車両系建設機械特別教育【八重山地区】」～8/8(水)迄(八重山農林高校)                                                                                      |                                                                                                                            |
| 8  | 水 |                                                                                                                                     | ・九建協「土木委員会」(佐賀県)<br>・琉球大学工学部後援会「総会」(那覇市)<br>・九建協「前会長会」(佐賀県)                                                                |
| 9  | 木 |                                                                                                                                     | ・県防災危機管理課「沖縄県総合防災訓練第2回全体会議」(那覇市)<br>・防衛協会「三役会」(那覇市)                                                                        |
| 10 | 金 | ・沖建協「原価管理講習会【宮古地区】」(宮古建設会館)<br>・沖建協「地域別産学懇談会【那覇管内】」(建労センター)                                                                         | ・九建協「建築委員会」(佐賀県)                                                                                                           |
| 13 | 月 | ・沖建協「正副会長会議」(建労センター)<br>・沖建協「役員会」(建労センター)                                                                                           |                                                                                                                            |
| 14 | 火 | ・沖建協「高校生小型車両系建設機械特別教育【沖縄工業】」～8/15(水)迄(建設業安全衛生技術センター)<br>・沖建協「建設業経理事務士3級特別研修【美里工業】」～8/16(木)迄(美里工業高校)<br>・沖建協「地域別産学懇談会【名護管内】」(北部建設会館) |                                                                                                                            |
| 15 | 水 | ・沖建協「地域別産学懇談会【沖縄管内】」(中部建設会館)                                                                                                        |                                                                                                                            |
| 16 | 木 | ・沖建協「地域別産学懇談会【宮古管内】」(宮古建設会館)                                                                                                        |                                                                                                                            |
| 17 | 金 | ・沖建協「原価管理講習会【八重山地区】」(八重山建設会館)<br>・沖建協「地域別産学懇談会【八重山管内】」(八重山建設会館)<br>・沖建協青年部会「研修委員会」(建労センター)                                          | ・物産公社「『沖縄県優良県産品推奨事業』商品力審査会」(那覇市)                                                                                           |
| 18 | 土 | ・沖建協「高校生小型車両系建設機械特別教育【美里工業・沖縄工業】」～8/19(日)迄(建設業安全衛生技術センター)                                                                           |                                                                                                                            |
| 20 | 月 | ・沖建協「建設業経理事務士3級特別研修【沖縄工業】」～8/22(水)迄(沖縄工業高校)<br>・沖建協「沖縄県土木建築部・教育庁へ要請」(県庁)<br>・建産連「役員会」(建設会館)<br>・沖建協青年部会「沖縄県土木建築部との意見交換会」(県庁)        |                                                                                                                            |
| 21 | 火 | ・沖建協「1級土木施工管理技術検定試験(実地)受験準備講習会」～8/22(水)迄(建労センター)                                                                                    | ・全国建産連「総務委員会」(東京都)                                                                                                         |
| 22 | 水 |                                                                                                                                     | ・磁気探査協会「磁気探査技士試験合否判定部会」(浦添市)<br>・県産品奨励月間実行委員会「実行委員会」(那覇市)                                                                  |
| 23 | 木 |                                                                                                                                     | ・九建協「労務対策委員会」(佐賀県)                                                                                                         |
| 24 | 金 |                                                                                                                                     | ・熊本建設業協会青年部会「全国大会・実行委員会」(熊本県)                                                                                              |
| 28 | 火 | ・沖建協「1級建築施工管理技術検定試験(実地)受験準備講習会」～8/29(水)迄(建労センター)<br>・建退共「建退共制度説明会【那覇・南部地区】」(サムシング・フォー西崎)<br>・建退共「建退共制度説明会【中部地区】」(沖縄コンベンションセンター)     | ・建設業社会保険推進・処遇改善沖縄地方連絡協議会(那覇市)<br>・沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議「総会」(恩納村)                                                             |
| 29 | 水 | ・建退共「建退共制度説明会【北部地区】」(北部雇用能力総合センター)                                                                                                  | ・防衛協会「理事会」(那覇市)<br>・おきなわ建設フェスタ実行委員会「幹事会」(那覇市)                                                                              |
| 30 | 木 | ・建退共「建退共制度説明会【宮古地区】」(ホテルアトールエメラルド宮古島)                                                                                               | ・県保健医療部健康長寿課「健康長寿おきなわ復活県民会議」(那覇市)<br>・建退共本部「建退共制度に関する支部事務局長・担当者意見交換会」(東京都)<br>・沖縄建設新聞「臨時取締役会」(那覇市)<br>・九建協「専務・事務局長会議」(熊本県) |
| 31 | 金 | ・建退共「建退共制度説明会【八重山地区】」(八重山建設会館)                                                                                                      | ・生コンクリート品質管理監査会議「生コン工場立入監査」(嘉手納町)                                                                                          |

## 平成30年9月の行事予定

| 日  | 曜 | 沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等                                              | その他会議・講習会等                                                                                                        |
|----|---|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 土 |                                                                  | ・沖縄県「平成30年度沖縄県総合防災訓練(実働訓練)」(那覇市)                                                                                  |
| 3  | 月 |                                                                  | ・おきなわ技能五輪・アビリンピック2018推進協議会「選手育成専門委員会」(那覇市)                                                                        |
| 4  | 火 |                                                                  | ・建設業振興基金「建設業経理事務士特別研修3級」～9/6(木)迄<br>(浦添市)<br>・沖縄労働局・県商工労働部「経済団体に対する障害者雇用の要請」<br>(那覇市)<br>・建設業企業年金基金「資産運用委員会」(浦添市) |
| 5  | 水 |                                                                  | ・生コンクリート品質管理監査会議「生コン工場立入監査」(沖縄市)                                                                                  |
| 6  | 木 | ・沖建協「建設雇用改善事業推進会議」(建労センター)                                       |                                                                                                                   |
| 9  | 日 |                                                                  | ・建設業振興基金「建設業経理士検定試験1・2級」(宜野湾市)                                                                                    |
| 10 | 月 | ・沖建協「正副会長会議」(建労センター)<br>・沖建協「役員会」(建労センター)<br>・沖建協「総務委員会」(建労センター) | ・物産公社「優良県産品推奨事業選定審査会」(那覇市)                                                                                        |
| 11 | 火 | ・沖建協「高校生現場見学会【美来工科・土木工学科】」<br>(産業廃棄物最終処分場、安富祖ダム)                 | ・全国建産連「全国会長会議」～9/12(水)迄(福島県)                                                                                      |
| 13 | 木 | ・沖建協「高校生現場見学会【美里工業・建築科】」<br>(サンエーパルコ、職業能力開発校本館)                  | ・環境整備センター「取締役会」(那覇市)                                                                                              |
| 20 | 木 |                                                                  | ・建災防「全国建設業労働災害防止大会」(神奈川県)                                                                                         |
| 21 | 金 |                                                                  | ・全建「協議員会」(東京都)                                                                                                    |
| 26 | 水 |                                                                  | ・職業能力開発協会「若年技能者人材育成支援等事業に係る連絡会議」(那覇市)                                                                             |
| 27 | 木 |                                                                  | ・建設業振興基金「監理技術者講習」(浦添市)                                                                                            |
| 28 | 金 |                                                                  | ・九建協「専務・事務局長会議、会長会議」(福岡県)                                                                                         |

## [9月号会員の異動]

## 代表者・所在地・組織 等

| ページ | 支部名   | 会社名     | 変更事項 | 変更前        | 変更後          | 備 考                |
|-----|-------|---------|------|------------|--------------|--------------------|
| P18 | 那覇    | (株)瀬底土建 | 代表者  | 兼島 進       | 瀬底 清進        |                    |
| P19 | 那覇    | (株)照正組  | 代表者  | 照屋 義実      | 照屋 圭太        | 「2018会員名簿」<br>修正済み |
| P24 | 南部    | (株)巴総業  | 所在地  | 豊見城市字座安342 | 豊見城市字座安342-1 |                    |
| P27 | 浦添・西原 | (株)大城組  | 代表者  | 花城 一郎      | 仲西 聡         | 「2018会員名簿」<br>修正済み |
| P32 | 浦添・西原 | (株)丸石建設 | 代表者  | 大石根 幸順     | 大石根 史        |                    |
| P39 | 北部    | (株)山口建設 | 代表者  | 山口 明       | 山口 裕         | 「2018会員名簿」<br>修正済み |

## 退 会

| ページ | 支部名 | 会社名     | 代表者名 |
|-----|-----|---------|------|
| P46 | 宮古  | (有)立真工業 | 砂川 敏 |

沖建協会報 2018年9月号(第580号)  
平成30年9月1日発行  
発行人 源河 忠雄

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会  
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8  
TEL.098(876)-5211  
FAX.098(870)-4565  
編集 株式会社沖縄建設新聞

# 建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

## お知らせ

中小企業退職金共済法の一部改正などに伴い、平成28年4月1日から建退共の制度が下記のとおり変更となりました。

### I. 退職金の予定運用利回りの変更について

中小企業退職金共済法に基づき5年に1度検討を行うこととされており、今回、検討の結果、建退共の退職金の予定運用利回りが2.7%から3.0%に引き上げられました。

このため、退職金の額に関する政令が改正されました。

※平成15年10月1日以降の掛金納付があり、かつ平成28年4月1日以降に退職金請求事由が発生される者

については、平成15年10月1日以降の掛金納付分についても3.0%の予定運用利回りが適用されます。

※掛金納付月数が12月以上24月未満の場合、退職金の額は掛金納付額の3～5割程度の額となります。

### II. 退職金の支給要件緩和について

これまで、掛金納付月数が24月未満の場合については退職金の不支給期間となっておりましたが、これが12月未満に緩和されました。(死亡による場合は12月未満で変更ありません。)

※平成28年3月31日以前に退職金請求事由が発生する方は従来通りとなります。

### III. 被共済者による移動通算の申出期間の延長について

建退共制度と中退共制度、清退共制度及び林退共制度との間を移動した場合、退職後2年以内であった通算の申出期間が3年以内まで延長されました。

### IV. 移動通算できる退職金額の上限撤廃について

これまで、移動通算できる額の上限を超える金額は差額給付金として被共済者に支給していましたが、その上限が撤廃され、全額が移動先の制度に移換できるようになりました。

※詳細については、建退共ホームページに掲載しております。

## 国の制度

# 5

## つの特長

#### 1 国の制度なので安全確実かつ簡単

退職金は国で定められた基準により計算して確実に支払われます。  
手続きはきわめて簡単です。

#### 2 退職金は企業間を通算して計算

退職金は、A企業からB企業にかわっても、それぞれの期間が全部通算して計算されます。

#### 3 国が掛金の一部を補助

新たに加えた労働者（被共済者）については、  
国が掛金の一部（初回交付の手帳の50日分）を補助します。

#### 4 掛金は損金扱い

掛金は、税法上全額について、法人では損金、個人企業では必要経費として扱われます。  
(法人税法施行令第135条、所得税法施行令第64条1項第1号及び第2項)

#### 5 運営費は国が補助

機構の運営に要する主たる費用は、国の補助でまかなわれますので、  
納めた掛金は運用利息とともに退職金給付に充当されます。

●お問い合わせは 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号

**建退共 沖縄県支部** 電話 098-876-5214



# 沖縄県建設業協会 会員の皆さまへ

一般社団法人 沖縄県建設業協会 会員限定

## 工事総合補償制度



低廉な掛金で工事のリスクから総合的にお守りします。ぜひご加入を検討ください。

### お支払する事故の例（主な補償内容）

#### 第三者賠償補償

ビル建設工事中に足場が外れて建築現場から資材が落下し、通行人にけがを負わせた。



スプリンクラー設置の欠陥により漏水が発生し、室内が水浸しとなった。



#### 工事補償 (土木・建築・組立)

集中豪雨による増水で河川工事中の護岸部分が流出した。



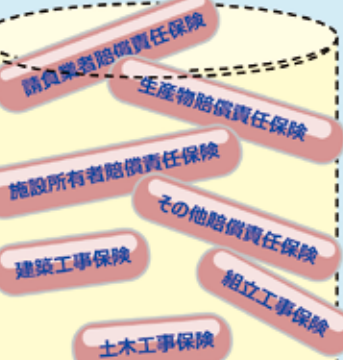
台風により建設中の建物が崩壊した。



- 特色① 会員向け団体契約保険であり各種保険を個別で加入するよりも保険料が割安
- 特色② 建設業における賠償事故および工事対象物の損害を総合的に補償
- 特色③ 年間に行う工事を包括的に保険の対象とすることができるため保険の加入忘れを防止
- 特色④ 保険料は全額損金処理することが可能

### 従来の保険契約

「契約手続きが  
保険ごとに必要」



モレやダブりは  
ありませんか？

保険の見直し、  
しませんか？

さらに

### 工事総合補償制度 (沖縄県建設業協会会員限定)

スッキリ！  
ご契約手続き  
を一本化！

賠償責任  
に関する補償  
工事  
に関する補償

補償の  
重複がない！

工事総合補償制度では、「第三者賠償補償」に  
「**沖縄県建設業協会独自の見舞金制度**」  
がセットされ、充実した内容となっています。

第三者賠償補償



見舞金制度

労災見舞金

加入者が施工する請負工事において、被用者が業務上の事由により死亡した場合の見舞金

災害見舞金

加入者の所有する事務用建物が災害により半壊以上の損害を被った場合の見舞金

- ◆この広告は制度の概要を示したものであり、ご契約の際には必ず「重要事項説明書」および「パンフレット」をご覧ください。
- ◆詳細につきましては一般社団法人 沖縄県建設業協会または制度幹事代理店までお問い合わせください。

お問い合わせ先（損害保険・見舞金制度運営団体）

一般社団法人 沖縄県建設業協会

検索

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8  
TEL.098-876-5211 FAX.098-870-4565

制度幹事代理店

大同火災ビジネスパートナーズ株式会社

〒900-0033 沖縄県那覇市久米2-2-20  
TEL.098-869-1503 FAX.098-869-1502

引受保険会社

大同火災海上保険株式会社

〒900-8586 沖縄県那覇市久茂地1-12-1  
TEL.098-867-1161 FAX.098-860-7061





こころとからだの健康づくり  
みんなで進める働き方改革

西野七瀬  
(元AKB48)

# 全国労働衛生週間

2018年10月1日～7日 準備期間9月1日～30日



建設業労働災害防止協会

建設業労働災害防止協会